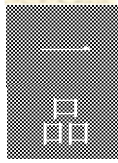


こぼれ話

先週に引き続き宮古弁についての一考察を。故郷の言葉、訛を聞くとホッとすることが少なくない。啄木ではないが都会に出て東北弁、宮古弁を聞くと、とくにそう感じる。小さい頃から宮古弁が体中に浸み込んでいるからか。呑めばついそうしたこと盛り上がる男性4人衆がいる。Aが口火を切った。「俺の話さ『つつかがんな』って

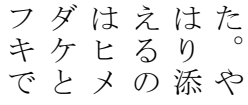
もわがんねえ社員がいのや」と。するとBが続いた。「俺の職場の若いお前さこの前食ったタラ汁は『けっぽり』がねがったがなたらキョトンとすんがが。けっぽりがわがんねえなんだ！」と。そんな話を聞いていた鉄ヶ崎のCが言った。「俺はさ『けげだす』って聞いたごどもねえす、意味もわがんねえがったでば」と。A「何！『けげだす』がわがんねえがったってがや」と驚いた表情をした。するとCは「俺がわがんなのは『ほぎだす』だ」と！

わが家の



「早煮コンブと筍、フキ、さつま揚げの煮物」

「材料」早煮コンブ、ヒメダケ、フキ、さつま揚げ、出汁の素、生醤油、つゆ、みりん、お酒。「つくり方」いまが旬の早煮コンブが手に入り、さっそくこれを使った煮物をつくろうと思いま



すよね。それに当然さつま揚げ。①早煮コンブは前の晩から塩出しをしておきます。ヒメダケとフキは市販物を使い、適当な長さに切っておきます。さつま揚げは斜め切りにします。②大きめの鍋に水を入れコンブ、フキ、ヒメダケを入れ火を通します。③途中でさつま揚げを加え出汁の素と生醤油少々とつゆ、みりん、お酒を加え中火でトコトコ煮込んでいきます。④途中で味を確かめ、足りないものを加えます。塩はコンブに含まれており必要ありません。(八木沢/K・S)

津波遺構

エレベーター一億円超で設置／維持管理費はこれから
実施設計費260万円が議決

6月15日の定例会議の最終日で平成30年度補正予算が議決されましたが、共産党議員団は反対しました。その主な反対理由の一つが津波遺構(旧たろう観光ホテル)にエレベーターを整備することが含まれていたからです。



津波遺構エレベーター棟設置工事実施設計業務委託費260万円は、そもそも公共施設でない災害廃棄物とも言える民間ホテルにエレベーターを設置するもので、市民の理解は得られないもので

の後の維持管理費(光熱費、保守点検費、消耗品費等)は市の負担(市民の負担)となります。「ランニングコストは実施設計で」は問題

エレベーター整備費は全額国が補てんする(復興交付金)としても、その後の維持管理費(光熱費や保守点検費、消耗品費は試算できません。産業振興部長は、急いで試算します、と答弁しましたが当然です。

読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣(田鏡)

●キラキラと光る夜光虫に声上げて夜の水あび浜の幼な日
●まるのま、梅味噌つけてほくく、と梅みそ一本食へてしまえり

自注/私の幼いころは夜光虫というものがたしかにいた。今はどうなんだろう。

工程表に沿って工事進展 / 今後「沈渣池」整備に 台風到来/一日の早い完成を

藤原ポンプ



新川町、藤原、千徳の3ヶ所でポンプ場整備の事業が進められています。その中の藤原地区の工事の進捗状況を見てみます。

杭工事、鋼矢板圧入、土工事が終了し躯体工事へ

被害日本大震災後地盤沈下の加わり満潮時には自然排水もままならない状況が続く、このポンプ場整備は地区住民から永年にわたり強く要望されてきました。

現時点では杭工事、鋼矢板圧入工事、掘削

と残土処理が終了している状況です。担当課のよれば土工事でコンクリート交じりの残土の処理は自前工事で再利用するか、産業廃棄物として処理するか、がこれからという状況です。

躯体工事(沈渣池)はこれから

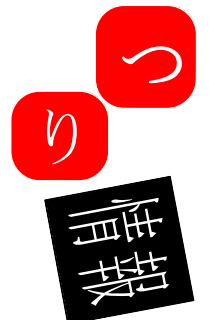
周辺から流れ込んでくる雨水を地中3m付近の沈渣池(流水中の土砂を沈殿させる)をつくり雨水などを溜める施設です。

懸案の海沿いの側溝の傾斜改善工事も

宮古大橋方面からポンプ場に沿って設置の側溝の傾斜は正は、建設常任委員会でも指摘し、今工事での整備を建設課と協議中とのことです。



6月から8月初旬までが狙い目だ。チョロ虫を採捕し、気を取り直してさあ、行くぞ!



6月は梅雨の季節だが宮古地方はまだ梅雨入りはしていない。どこの河川も少し水量不足である。八木沢の釣り吉は久しぶりに安家川を攻めた。国道45号を善民まで走り、そこから下流部を攻めた。鉄ヶ崎の御仁は岩泉・大川の七滝手前約1km前後を攻めた。こちらは最長20mを筆頭にヤマメ90尾という釣果だ。エサはチョロ虫とミミズ。両者とも経験に不足はないがえて言えばエサが違う。大川はチョロ虫一辺倒で攻め続けた。この時期の朝夕の川面を見ればカゲロウが飛んでいる。やはりこれに限る。